

かみふらの 議会だより

第 96 号

2017 年 10 月 25 日発行

発行 上富良野町議会



Contents

- 2 P 第3回定例会 条例改正ほか
- 5 P 一般質問 4名の議員が町政を問う。
- 10 P 委員会構成が変わりました!!

町民歩こう会

「ラベンダーの里かみふらのふるさと応援寄附条例」

改正案を 一部修正し可決!!

第3回定例会を9月12日から13日までの2日間開催し、各会計の補正予算、条例、人事案件などを審議しました。
また、4人の議員が国民健康保険事業の広域化やラベンダーハイットの財政運営について一般質問を行い、町の考えを問いました。

条例改正、修正動議のうえ原案可決

「ラベンダーの里かみふらのふるさと応援寄附条例」に基づき、ラベンダーを核としたまちづくりに賛同された方々の寄附を活用し、日の出公園のラベンダー植替え事業等を行ってきました。本町の特性からラベンダーに加え、新たに「十勝岳と共生するまちづくり」にも応援寄附を活用するため、十勝岳の環境保全、安全対策や噴火災害の歴史を後世に伝える事業にも活用できるよう、改正の提案がありました。

この改正により昭和42年施行の「上富良野町十勝岳地区振興基金条例」は廃止されることになり、この条例の改正に対し、議会は修正動議を提出しました。修正内容は、「上富良野町十勝岳地区振興基金条例」が廃止され、基金は、「ラベンダーの里かみふらのふるさと応援基金」と「十勝岳と共生するまちづくり応援基金」になりますが、「十勝岳と共生するまちづくり応援基金」を取り崩す際には、引き続き議会の責任を明確にするため、議会の議決を得るもので、改正条例とともに原案のとおり可決しました。



- 【寄附金額の区分】
- ①50,000円以上の高附
 - ②30,000円以上の高附
 - ③20,000円以上の高附
 - ④15,000円以上の高附
 - ⑤10,000円以上の高附

～モニター商品をお選びいただくにあたって～

- 1) 寄附金額に応じて商品をお選びいただけます(1高附につき1点)。
 - 2) 商品ごとに収穫、生産、製造等の時期が異なりますのでご注意ください。
 - 3) 随時新しい商品が追加され、また、在庫切れや取り扱いは休むなど、当カタログ掲載内容と実際の商品ラインナップが異なる場合があります。
- ※ふるさと納税サイト「さとふる」からのお申し込みを推奨しています。



ふるさと応援モニター商品カタログ及び十勝岳とラベンダー

条例

行政手続等における情報通信の 技術の利用に関する条例

平成29年第2回定例会において総務産建常任委員会に付託され、数回の慎重な審議の結果、総務産建常任委員会委員長から審議結果の報告が行われました。

審議の結果は、書面による各種申請や届け出に加えてインターネットによる手続きが可能になり、市民の利便性の向上が期待されることから、本条例は必要かつ適正と認められるとの報告があり、原案のとおり可決しました。

上富良野町職員の育児休業等
に関する条例の一部を改正

国家公務員の育児休業等に関する人事院規則の改正が行われました。このことを受け、町職員においても保育所等の申し込み中、待機している期間も育児休業の期間とする条例の改正が行われ、原案のとおり可決しました。

北海道上富良野高等学校卒業者
修学資金貸付条例の廃止

平成12年に制定された本条例は、貸し付けの対象が平成13年3月から平成17年3月までの卒業者を対象としていたため、条例の新規適用がなく、返還金の収納も完了したことから、条例の廃止が提案され、原案のとおり可決しました。



上富良野高等学校

補正予算

一般会計の補正予算を可決

町民税・固定資産税の確定による増額補正、定住移住促進のための北海道暮らしフェア参加、上富良野小学校の北海道吹奏楽団体コンクール出場、複合型拠点施設先進地視察、クリーンセンター1施設改修、富原分館屋根修理、児童・生徒の就学援助、入学準備に係る費用など、1千232万9千円を増額補正し、総額65億6千693万4千円とする補正予算を可決しました。

専決処分として、ふるさと応援寄附モニター事業に係る事業費の補正も承認されました。寄附件数2千915件、寄附金額3千653万5千円となっており、モニター商品に対するアンケートに、38件の回答が寄せられています。

各特別会計及び企業会計

補正予算を可決

各特別会計の平成28年度の交付金及び事業費などの確定に伴い、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計は増額し、ラベンダーハイツ事業特別会計、病院事業会計は寄附金により増額する補正予算を可決しました。

■ 9月補正予算の状況 ■

会計名	補正額	総予算額	
一般会計	1232万9千円	65億6693万4千円	
特別会計	国民健康保険	0円	15億8532万5千円
	介護保険	191万5千円	9億4427万円
	ラベンダーハイツ事業	10万円	3億6万4千円
企業会計	病院事業 収益的支出	—	9億729万円
	病院事業 資本的支出	13万円	2997万3千円

※国民健康保険特別会計は予算の組み替えのため、補正額は0円です。

質疑

問 複合型拠点施設の先進地視察について、どのような機能を有する施設として構想しているのか。

答 4月の執行方針でも述べましたが、古くなってきたいる農産物加工実習施設や防災拠点機能など、どのような機能を持たせることがこの地域に良いのか、青写真をまとめるためにも先進地視察をしたいと考えています。
町の大型プロジェクトが控えているため、なるべく早期に全体構想をまとめたたく、今回の補正をお願いしました。

人事

田中利幸副町長の任期満了に伴い、選任する議案が提出され、議長を除く13人による無記名投票の結果、賛成5、反対8で再任を否決しました。

教育委員会委員に佐藤大輔さんを任命する議案が提出され、全員賛成で同意しました。



佐藤 大輔さん (再)
東町1丁目

意見書を国に提出しました

「全国森林環境税」の創設
に関する意見書

わが国の地球温暖化対策については、2020年以降の温室効果ガス削減目標が国際的に約束されているが、その達成のためには、とりわけ森林吸収源対策の推進が不可欠となっている。

平成29年度税制改正大綱において、「市町村が主体となつて実施する森林整備等に必要な財源に充てるため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税（仮称）の創設」に関し、「平成30年度税制改正において結論を得る」と明記されたことから、森林・林業・山村対策の抜本的強化をはかるための「全国森林環境税」の早期導入を強く求める。

その他に、

- ・「特別支援学校の設置基準の策定及び特別支援学級の学級編制基準の改善を求める意見書」
 - ・「2018年度地方財政の充実・強化を求める意見書」
 - ・「林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書」
- 以上、4つの意見書を国に提出しました。

議会を傍聴してみませんか？

町議会では年4回、3月・6月・9月・12月に定例会を開催し、必要に応じて臨時会を開会しています。

議会の傍聴は、最も身近な議会活動に触れることのできる方法です。議会では住民生活にも関わる様々な案件を審議しています。

また、定例会では議案のほかにも議員が行政（町長や教育長）へ質問をする「一般質問」も行われます。

次の定例会開会予定は…

12月12日（火）・13日（水）です！

※この日程は変更になる場合がありますので、ご確認のうえ、役場3階の議場までお越しください。

お気軽にお越しください。

たくさんの方の傍聴をお待ちしています！

お問い合わせ

上富良野町議会事務局 電話 ⑤6992

一般質問

4名の議員が町政を問う。

一般質問とは、定例会において議員が住民の声や自身の考えなどをもとに町部局に対して行財政全般の考え方や疑問を問うことです。執行機関に所信を問い、事実を質すことにより、公正な行政を確保しようとするものです。議会だよりではスペースの都合上、質問と答弁を要約して掲載しています。詳細は、後日、行政ホームページに掲載します。

議場では臨場感のあるやり取りを傍聴することができますので、ぜひ、議場へお越しください。

ページ	質問議員	質問事項
6	米沢 義英 議員	① 国民健康保険の都道府県化について ② 教育行政について
7	佐川 典子 議員	① 中央コミュニティ広場テントの利用規約について ② 十勝岳「泥流地帯」の映画化等について
8	荒生 博一 議員	① 外国人観光客の受け入れ整備について ② 特別養護老人ホームラベンダーハイツ事業について
9	高松 克年 議員	① 不育症治療費の助成について ② 平成30年度よりの米生産調整廃止後の政策の方向性について



米沢議員 平成30年度

から、国民健康保険事業運営が都道府県に移管されるが、町の保険料の賦課方式は、税・料方式どちらを選択するのか。

また、町独自で、子育て世帯への国民健康保険税の軽減措置を設ける考えがあるのか伺う。

向山町長 賦課方式は、保険運営を維持するために、4方式を継続し、徴収方式は、保険税と料では、賦課に係る納期限

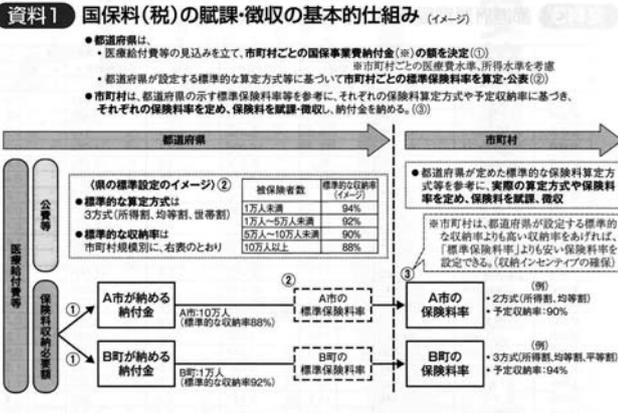
及び還付期限が異なるため、地方税法に基づく保険税が望ましいと考えている。

子育て世帯の加入状況は、18歳以下の子供が属する世帯は、133世帯で、構成割合は約9%である。子育て世帯への減免制度は、町独自の軽減制度の考えは持ち合わせておらず、子育て支援策においては、福祉・医療・教育の観点から取り組んでいる。

—米沢 義英 議員—

子育て世帯への国民健康保険税の負担軽減を町独自の軽減は考えていない（町長）

国保



国保料(税)の賦課・徴収に関する資料

子育て

中学生の指定ジャージの無償給付を研究、検討をしてみたい (教育長)

米沢議員 可処分所得

が減るなかで、家計のやりくりも大変な状況が見受けられる。

中学生の指定ジャージの無償給付を望む声があるが、学校に係る保護者の費用負担の軽減

に向けて、踏み込んだ対応が必要では。

服部教育長 学習指導

上で授業等に用いる教材のうち、個人に帰属する経費については、個人が負担するものと考えている。

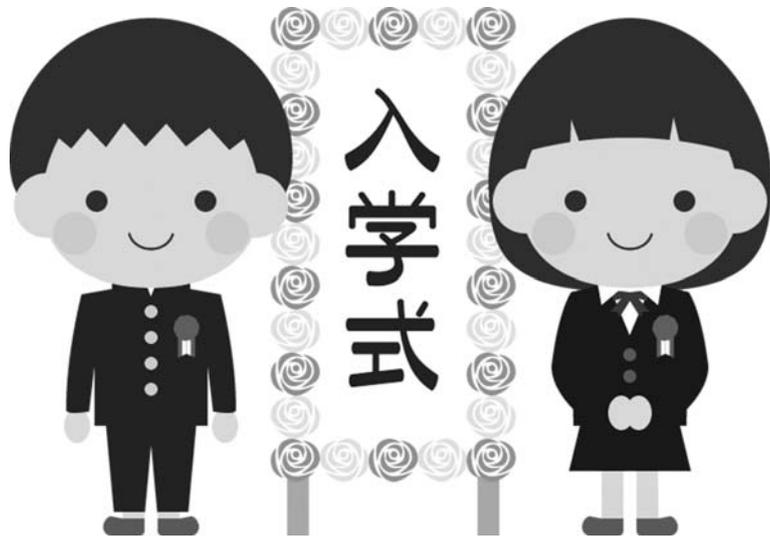
入学時のお祝いとしての、中学生の指定ジャージの無償給付について、現在のところ考えはない。

経済的な理由によって、就学困難と認められる児童生徒に対しては、

入学用品費、学用品費、

学校教育費、24年度からはPTA会費、クラブ活動費等を就学援助に加えて支援の拡大を図ってきた。

今後においても、現在の支援を継続しながら、保護者の教材費等の経済負担の軽減について、研究、検討をしてみたい。



中学校入学時に指定ジャージの無償給付を



環境

— 佐川 典子議員 —

テント利用者に他人への迷惑防止の喚起充実を 利用者のモラルに委ね 周知の仕組みを検討する（町長）



イベントでにぎわう商工会横のテント

佐川議員 平成26年に中央コミュニケーション広場に設置された大型の白いテントは、多くの町民が集い、イベントや余暇活動・文化活動の場として利用され、懇親を深めている。雨天時も利用可能な施設として諸団体から喜ばれている。子育て中のお母さん達の利用も増えており、同日同時間内での利用も増え、飲酒を伴うことがあり、マナーが危惧される。

迷惑行為についての規約がなく、利用時に他団体への配慮や注意事項など明記し、承認させるなど必要でないのか。怒鳴られている現場を見たが、今後お互いが嫌な思いをしないように、迷惑行為をさせないための未然防止への配慮が必要ではないのか。
向山町長 町民の皆様が気持ち良く使っているだけ、もう少し周知や仕組みを整えられないか、注意事項の掲示など検討したい。

歴史

十勝岳「泥流地帯」の映画化で 何を指すのか

先人の不撓不屈の開拓魂を映画化し 後世に残したい（町長）

佐川議員

開基120

年記念事業が様々な観点から開催され、改めて多くの町民が町の歴史である「災害を乗り越え復興を成し遂げた町」へ関心を寄せている。

大正15年5月24日の十勝岳爆発の泥流災害を、故三浦綾子さんが小説の中で歴史事実等もふまえ、文章化している。

映画化でどの様に地域活性化に繋げるのか。その歴史的財産を残すため、町民としての関わり方や、具現化するための予算も伺いたい。

向山町長

映画の撮影

が町内で行われ、「ロケ地観光」での地域活性化や、災害の歴史を伝え、貧しくても誠実に生きぬく姿を通して、教育的

価値も期待できる。

被災と復興の伝承は、豊かな大地によりがえらせた事実や、復興の実証例で寄与できる。弔意も引き続き表し、節目の年には追悼式典をし、語り継ぎの希薄化も映画を通して伝えられる。

官民あげた取り組みで町民の思いが一つになるよう、気運の醸成に努め具現化していく。予算は、地方再生事業やふるさと納税企業版など多重的に取り組み、同時に負担軽減を図り進めて行く。



三浦文学の小説本



— 荒生 博一 議員 —

マナー違反をする外国人観光客への対策は 情報提供やマナーの徹底、改善に取り組む (町長)

観光



外国語で表記された立入禁止看板と道路標示

荒生議員 農地への侵入対策は。

向山町長 防衛策として、生産者団体が独自に取り組みものをはじめ、生産者、JA、上富良野町集落協議会の3者共同により、行政も加わった中で中山間事業を活用し、日本語・外国語を併記した「立入禁止看板」を設置し、立ち入りの抑制を図っている。

荒生議員 交通事故防止対策は。

向山町長 一旦停止の「止まれ」標識を理解せず、交差点に進入しての事故が最も危険性が高いと考えられていることから、平成27年度からこれまでに「STOP」の標識を6か所設置した。本年度においては、一定の効果が期待できる方法として、41か所の舗装路面に「STOPマーク」と「減速マーク」を表示し、注意喚起をしている。

福祉

ラベンダーハイツの経営改善策と 今後の整備は

選ばれる施設となるよう サービス向上に努める(町長)

今後の整備は

荒生議員

利用者向上に向けた具体的な取り組みは。

向山町長

空床ベッドの活用、入退所手続きの速やかな対応、介護・看護の連携による健康管理の徹底、ショートステイにおいては、長期入院者の空床ベッドの活用を、デイサービスにおいては、利用者や家族に対する継続利用や回数増の働きかけのほか、地域包括ケア会議やお元氣かいを通じて呼びかけを行う。

荒生議員

老朽化における今後の整備は。

向山町長

ラベンダーハイツは建設から30年以上が経過しており、老朽化が進んでいる状況にあることから、まず、

基本的には、現在の施設の長寿命化を図ることを最優先とし、設備の保守点検を確実に、入所者・利用者の生活に支障をきたさないよう努めるとともに、安心・安全なサービスが提供できるよう維持管理に努める。

中長期的な観点からは、第6次総合計画の中で、今後の施設のあり方についての検討が必要と考えている。



特別養護老人ホームラベンダーハイツ



保健

— 高松 克年 議員 —

不育症治療に町独自の助成をすべき 政策展開が必要となれば行なう（町長）

北海道不育症治療費助成事業のご案内【H29.4.1～】

北海道では不育症に関する治療や検査を受けている方の経済的負担を軽減するため不育症治療費助成事業を実施しています

1 対象となる検査・治療

- 不育症の因子を特定するための検査
- 子形態検査、染色体検査、内分泌検査、抗リン脂質抗体検査、遺伝因子検査
- 検査結果に基づく治療
- 手術療法、着床前診断、抗甲状腺薬、甲状腺ホルモン剤、インスリン、低用量アスピリン療法、ヘパリン療法、カド

2 対象となる方

2回以上の流産、死産、あるいは早期新生児死亡の既往がある方のうち、次のすべての要件に該当する方

道内市町村の不育症治療費助成事業実施状況【平成29年5月1日時点】
※政府指定都市（札幌）、中核市（旭川・函館）は除いております。

市町村	所管機関	担当部署	郵便番号	住所	電話番号	制度開始時期 (道庁の認定時期) 実施・中止期間	備考
1 根室市	根室市	健康づくり推進課 健康づくりグループ	098-8780	根室市4条西3丁目1番地 であまーも根室市3階 市民センター	0129-25-5545	平成29年4月	年齢制限・所得制限・北海道 産科医療 ない 制度別 対象治療費から道 の負担 対象治療費 700万円未満
2 旭川市	旭川市	保健福祉課健康づくり課	073-0032	旭川市南神町1丁目4番32 号	0129-24-5256	平成27年4月	不育症治療に際した医療費の 上限10万円。 道民以上の医療、申請日に於 て所得制限 700万円未満
3 釧路市	釧路市	市民福祉部 健康推進課	014-8850	釧路市2条13番3号	0144-25-2909	平成28年4月 (改正開始)	助産費、検査費用となる治療 費を助成（検査費、手術代 別枠制）上限額：1年度に て1年度とする。

北海道、市町村の不育症への情報

高松議員

対象者が現

周知はしていない。

北海道の事業のため、特に

北川保健福祉課長 北

支援は考えていない。

在、相談を受けておらず、

行っている。本町で現

年度より、治療費助成を

向山町長 北海道が本

と考えるが。

返す病状)の検査、治療

に対する助成をすべき

産または、生後一週間以

内の新生児死亡を繰り返

費用負担が

大きい不育症(流産、死

産または、生後一週間以

内の新生児死亡を繰り返

対し、解消に努める。

配、悩みを持つ方の相談

向山町長 町として、心

い条件と思われるが。

が比較的近いことも良

要な施策と思われる、医大

不妊治療とともに必

を迎えられるという。

ると、8割は無事な出産

で治療が適切に行われ

している。投薬、手術等

村が独自の助成を開始

全道で、すでに26市町

相談があれば対応する

ということか。

在いないとのことだが、

農業

米の生産調整廃止後の対応は

米の需給安定調整が第一（町長）

高松議員

米生産調整

廃止後の対応は。

向山町長 国の需給見

通しを受け、生産者、集

荷業者、各団体が農業再

生協議会を通じ、各農家

への目安数量を示す。

町は新制度に向け、情

報提供と公平な立場で

協議に臨む。

高松議員

今までより

緩い感じのする目安数

量の意味は。

向山町長

強制力はな

いが、過剰な作付に対し、

各農業再生協議会を通

じて、産地交付金で調整

されると理解する。

高松議員

現在、水田利

活用により、需給動向を

含み調整が機能してい

るが、今後の必要条件は。

向山町長

土地改良事

業等により、汎用性の高



稲刈りの様子

い土地利用活用によって

戦略的な作目への多様

性を図り、産地交付金に

よる誘導策は重要な施

策である。

高松議員

各経営者に

は、まだ目安数量も示さ

れていないが、政策の変

化に対応できるよう、正

確な情報が重要では。

向山町長 転作により

長い間、受け身で来た。

今後は、戦略性を持つ

た攻めの農業経営を進

めるため、町も生産者と

一体となり、地域の経済

を担うよう、情報と施策

を打ち立てて行く。

委員会構成が替わりました!!

議会議員選挙から2年が経過し、委員会の任期が2年のため9月7日の全員協議会で選挙を行い、第3回定例会において議長より選任されました。

- ・ 総務産建常任委員会 7名
- ・ 議会運営委員会 6名
- ・ 民生委員推薦会委員 1名
- ・ 議員会役員 5名
- ・ 厚生文教常任委員会 7名
- ・ 議会広報特別委員会 6名
- ・ 都市計画審議会委員 2名

総務産建常任委員会



委員長 岡本康裕
副委員長 北條隆男
委員 長谷川徳行、高松克年、米沢義英、中瀬実和、村上和子

◆◆委員長からのコメント◆◆

常任委員会の使命である、行政に関することや、まちづくりに関して、町民皆様の目線に立ち、調査・審査・研究を行いたいと考えています。

特に調査事項の実態を把握し、分析し、検討して問題点をとらえ、改善するにはどのような措置を講じればよいのか、執るべき対応・政策を研究して結論を出し、問題に対する改善策と対応策を出すことが、上富良野町及び町民の福祉の向上に資すると考えています。

まちの総合計画にある、「住んでいて良かった、これからも住み続けたいまち上富良野」を体現すべく、町民の皆様の意見に耳を傾けながら委員会を運営していく所存であります。よろしくお願いいたします。

厚生文教常任委員会



委員長 荒生博一
副委員長 中澤良隆
委員 佐川典子、今村辰義、金子益三、竹山正一、西村昭教

◆◆委員長からのコメント◆◆

厚生文教常任委員会は、町民生活に密接に関わる分野を所管とした委員会です。

現在、日本は深刻な少子高齢化が進み、当町でも、本年5月の高齢者実態調査の結果では、人口総数1万9722人に対し、65歳以上の人数が3千324人と高齢化率が30.3%になりました。

町では福祉施設の老朽化も深刻な問題で、今後策定される第6次総合計画の中には、町立病院やラベンダーハイツ等の施設のあり方が検討される事になると思います。

私たちは、町民の皆様がこれからも健康で安心・安全に暮らせるよう、行政と熟議し、諸問題に取り組む所存です。町民の皆様のご支援とご協力、何卒よろしくお願い申し上げます。

議会運営委員会



委員長 佐川 典子
副委員長 中瀬 実
委員 中瀬 良隆、岡本 裕一、荒生 博一、米沢 義英

◆◆◆委員長からのコメント◆◆◆

議会運営委員会では、議会日程の決定や会議規則、委員会条例等に関する事項、要望・陳情等の審議、議長の諮問に関する事項を担当しますが、議会報告会や議会環境の方向性も、改めて審議したいと考えています。

地方議会として求められている心構えは、一部の人のためにあらず、多様な民意を民主的立場に立って、町政に反映させる事であると感じております。各々が高い議員像を持つことで、議会判断に繋げていきたいと考えております。

「町民のための議会運営」が委員長としての2年間のテーマと考え、微力を投じさせていただきます。

議会広報特別委員会



委員長 高松 克年
副委員長 金子 益三
委員 中瀬 良隆、竹山 正一、米沢 義英、中瀬 実

◆◆◆委員長からのコメント◆◆◆

各委員会の構成替えがあり、広報担当に6名が決まりました。広報は、議会と町民の皆さんの目として、耳として、足として、互いの意思の疎通に欠く事ができない、大切なものだと思います。

議会の見える化が話題になっていますが、現在の紙面で十分に伝わっているのか、読みやすく、解りやすく、見やすくできて、十分に伝わっているのか。また、皆さんの意見が反映された編集になっているのか。それぞれ各委員の知恵を集めて、広報紙の編集に努力します。

皆さんの期待に沿えるよう、ご支援、ご意見をよろしく願います。

議会役員



会長 中瀬 実
副会長 竹山 正一
理事 長谷川 德行
監事 今村 辰義、北條 隆男

民生委員推薦会委員 都市計画審議会委員



米沢 義英 議員



竹山 正一 議員



長谷川 德行 議員



7月18日	総務産建常任委員会
8月9日	総務産建常任委員会
23日	議会運営委員会
29日	総務産建常任委員会
29日	鳥取県西部町村議会議長会視察来町
31日	厚生文教常任委員会
31日	全員協議会
9月5日	厚生文教常任委員会
6日	総務産建常任委員会
7日	議会運営委員会
	全員協議会
	議会広報特別委員会
12日	第3回定例会(1日目)
13日	第3回定例会(2日目)
13日	議会広報特別委員会
20日	総務産建常任委員会
29日	町内行政調査
10月3日	厚岸町議会視察来町
4日	決算特別委員会(1日目)
	議会運営委員会
5日	決算特別委員会(2日目)
	総務産建常任委員会
6日	決算特別委員会(3日目)
12日	議会広報特別委員会
17日	議会広報特別委員会

◆鳥取県西部町村議会議長会が視察来町しました。

8月29日に鳥取県西部町村議会議長会が来町し、「健康かみふらの21計画」、「健康づくり推進のまち宣言」について調査されました。

◆町内行政調査を行いました。

9月29日に町内行政調査を実施し、14名の議員が出席しました。昨年の台風等による災害復旧現場や日の出公園、上富良野中学校など、14か所を調査しました。



◆厚岸町議会が視察来町しました。

10月3日に厚岸町議会が来町し、「災害対策の取り組み」、「平成28年台風時の危機管理や災害への対処、その後の対応」について調査されました。

ひとりごと...

■今年もまた、台風で大きな被害が出てしまいました。農作物、住宅、施設等、損害に遭われた皆さんにお見舞い申し上げます。
 ■突然のJアラートに度々脅かされますが、私たちには何もできず、12分間、静かに待つているだけ。根本は、長い歴史的外交の中から生まれしてきたことであれば、時間をかけて平和への連鎖を結んでいく事なのかもしれません。

■突然の衆議院解散。どのようになるのでしょうか。この議会だよりが届く時には、結果は決まっています。政治的混乱のツケを国民に回さないでほしいと思います。

(高松 記)

議会広報特別委員会

委員長	高松 克年
副委員長	金子 益三
委員	中澤 良隆
	竹山 正一
	米沢 義英
	中瀬 実